



K家(ひたち野西)のタタンちゃん(メス)



キャラメリゼのような色をしているのでタタンというケーキから取って「タタン」と名付けました。

問 環境政策課 ☎内線1563

暑い夏が過ぎ、気温も下がってきたことで飼い犬の散歩にも快適な季節になりました。飼い主の皆さんは飼い犬を目いっぱい運動させてあげたいと思っっていることでしょうか。飼い犬の健康とストレス解消のためにもたくさん運動させることはとても重要です。ですが度々、公園などで「ノーリード(引き綱を放す)」で犬を遊ばせているとの苦情が市に寄せられています。引き綱を放す行為は、意図せず他人を驚かせる、またはけがをさせるといった迷惑になるばかりでなく、交通事故や行方不明などで飼い犬を危険にさらすことにもなり

かねません。さらには飼い犬が他の方々に嫌われてしまうことで近隣トラブルに繋がる可能性もあります。これらの多くの原因が飼い主の意識不足からきています。飼い犬が他の人からも可愛がられ、ご近所付き合いを円満にするためには、飼い主の皆さんの意識向上が大切であると言えるのです。

「ドッグラン市民無料開放日」について現在、休止させていただきます。再開等については、市ホームページおよび広報紙にてお知らせします。



ペットの写真募集中!

投稿者の氏名・電話番号と、ペットの名前・種類・性別・年齢を記入の上、メールか封書でお送りください。
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1「環境政策課わんにゃんこ」係
E kankyuu@city.ushiku.ibaraki.jp
※封書の場合、写真は返却しません。
※掲載に不適切と思われる写真については、掲載しない場合がありますのでご了承ください。

犬、猫以外もOK
自慢のペットを
ご紹介ください!



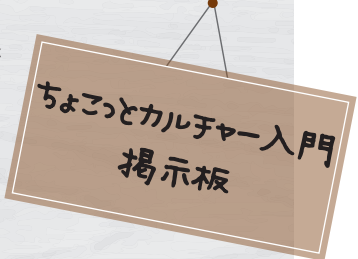
版画のいろいろ 豆知識

問 文化芸術課 ☎871-2300

版画と言えば「年賀状を芋版で作った」「消しゴムハンコを習っている」など、経験がある方も多いと思いますが、いろいろな技法があることをご存知でしょうか。今回は版画についてご紹介します。

版画には主に「木版(凸版)」「銅版(凹版)」「リトグラフ(平版)」「シルクスクリーン(孔版)」の技法があります。木版は最も歴史が古く、北斎の浮世絵のように木肌の素朴な温かみを感じられる作品になります。次に登場した銅版は、銅の腐食による独特の風合いと精密な線描写が得意で、紙幣や切手印刷にも用いられました。油分を含む画材で

版に直接描くリトグラフは、ロートレックのポスターのように自由で絵画的なタッチが表現でき、最も新しいシルクスクリーン技法は、布目の潰れていない部分にインクを通すという原理でくっきりとした絵柄が刷れます。ポップアートの巨匠アンディウォーホルのキャンベルのスープ缶作品はまさにその特徴を表しています。版画は印刷技術の発展と共に多様化し、持ち味の異なる多くの作品が生まれました。



今回の豆知識に関連するイベント案内

第24回うしく現代美術展 -魂ゆさぶる出会い-

地元作家による平面・立体・クラフトの作品展<入場無料>

【日時】11月18日(日)~12月2日(日)午前10時~午後4時30分(入館は午後4時まで、最終日は午後3時まで)

【会場】中央生涯学習センター(多目的ホール/展示ホール/広場)